

日本健康心理学会主催 第34回健康心理学研修会

【日 時】

2007年3月17日(土)・18日(日)

【会 場】

早稲田大学総合学術情報センター国際会議場

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-20-14 TEL03-5286-1755

地下鉄東京メトロ東西線「早稲田」駅下車徒歩10分、JR・西武新宿線「高田馬場」駅下車徒歩20分
「高田馬場」駅より都バス早稲田正門行で「西早稲田」停留所より徒歩3分 早稲田大学北門前

【参加資格】

日本健康心理学会 **会員・非会員**とも受講できます。

【申込方法】

参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXか郵送にてお申し込み下さい(先着順)。

受付後に、受講料の「振込用紙」「会場地図」等をお送り致します。

お振り込みいただいた受講料は、不慮のやむをえない事由(天災、交通機関の事故、台風・大雨等による交通機関の麻痺、その他受講生の責任に帰さないやむを得ない事態等)を生じた時を除き、欠席の場合でもご返金致しませんので何卒ご了承下さい。

受講の際には、「認定健康心理士の資格申請の手引き」の『資格取得条件』を熟読の上、お申し込み下さい。「資格申請の手引き」(¥2,000)購入希望の方は「研修委員会事務局」までご連絡をお願いします。

「資格更新」を目的とされる方も「研修証明書」が必要です。

やむを得ない理由により講師が変わる場合は何卒ご了承下さい。

▶▶▶▶ お問い合わせ・申込書送付・レポート送付先 ▶▶▶▶▶

日本健康心理学会研修委員会事務局

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1 - 1 - 6 バトンドルージュ 2 F

TEL : 03 - 5287 - 3123 FAX : 03 - 5287 - 3124

研修カリキュラム

A1:健康心理学(講義) B2:健康心理カウンセリング実習	
コース名・日時	講義題目・講師(予定)
A1 3/17(土) 10:30-12:00	<p>「特別講義:認知症 -心理的理解とケア-」</p> <p>キーワード:アルツハイマー型認知症、血管性認知症、認知症の治療、認知症の予防、認知症のケア</p> <p>講師:長田久雄(桜美林大学大学院教授)</p> <p>認知症は、有病率が高齢者の6%程度と推定されており、高齢社会の重要な課題の一つである。認知症は、現時点では治療が容易ではないため、生活の質の向上を目指す良質なケア方法の確立が求められている。また、予防に関しても関心が高まってきている。今回の研修では、認知症の背景、治療、予防、ケアに関して、心理的特徴をふまえて紹介する。</p>
A1 3/17(土) 13:00-14:30	<p>「健康心理カウンセリングとは 肯定的な資質の発見 -」</p> <p>キーワード:健康心理カウンセリングの目的・対象、健康心理カウンセリングの理論、事例</p> <p>講師:野口京子(文化女子大学教授)</p> <p>健康心理カウンセリングは、健康に関する問題の解決や、健康の維持・増進を、カウンセリングの技法を用いて促進していくために行う。したがって、健康に関する知識とカウンセリング技法の習得が必要となる。「健康」の定義の三側面である心理的・身体的・社会的ウェルビーイングの達成に貢献する様々な立場のカウンセリング理論を解説する。また、健康心理カウンセリングの過程で体験する自己効力感等に焦点を当て、成長可能性、自己決定に結びつく肯定的な資質の重要性を学ぶ。</p>
A1 3/17(土) 14:40-16:10	<p>「健康行動とライフスタイル」</p> <p>キーワード:</p> <p>講師:小玉正博(筑波大学教授)</p>
B2 3/18(日) 10:30-16:10	<p>「自律訓練カウンセリング実習 -健康と能力発揮のための身心のセルフコントロール-」</p> <p>キーワード:セルフモニタリング、セルフコントロール、能力発揮、ストレスマネジメント、体験論的カウンセリング</p> <p>講師:坂入洋右(筑波大学助教授)</p> <p>自己の身心の状態に気づき(セルフモニタリング)、良好な状態に自分で切り替える(セルフコントロール)ためのスキルを身につけることは、ストレスマネジメントだけでなく、重要な場面での過度の緊張を防いで能力をフルに発揮することにも役立つ。本研修では、代表的な身心のセルフコントロール・トレーニングである自律訓練法の理論と実際を実習を通して学ぶ。さらに、自律訓練法の体験を豊かな関わりの場として活用する体験論的カウンセリングについて解説する。</p>

2006 年は 10 月 29 に国士舘大学（東京）にて「試験」を開催致しました。試験によって資格を取得する方は
研修会の点数は資格要件にあたりませんが、自己研鑽のために受講されることは歓迎します。

日本健康心理学会認定健康心理士の資格について

資格制度の目的

この制度は健康心理学を通して国民の健康向上に貢献し、健康心理学の研究と実践の進歩と発展に資するとともに、健康心理学の専門家の養成を図るため、健康心理学について一定の学識と技能を有する日本健康心理学会の会員に対し、認定健康心理士の称号を付与し、その資格の認定を行うことを目的としています。

認定健康心理士には三種類の資格があります。資格取得際には、資格ごとに条件がありますので、その条件を満たす必要があります。詳細は『資格申請の手引』をご参照下さい。

健康心理士

専門健康心理士や指導健康心理士等の助言・指導を受けながら健康心理に関する職場において、観察・テスト・面接など健康心理アセスメントと健康心理カウンセリング、健康教育プログラムの作成実施にあたります。

専門健康心理士

健康心理に関する職場等において健康心理学の研究を行い、観察・テスト・面接など健康心理アセスメントと健康心理カウンセリング、健康教育プログラムの作成実施にあたります。

指導健康心理士

健康心理の研究と教育および実践を進展・普及させるために貢献し、必要ときには健康心理学に関連する問題について行政に報告し、健康心理士、専門健康心理士のスーパービジョンにあたります。

健康心理士の資格取得を希望される方

「試験を受験して資格を取得する方法」と「研究業績等を 15 点以上積み上げて申請する方法」があります。（研究業績評価表は「資格申請の手引」に記載）
（**専門健康心理士**と**指導健康心理士**の資格取得を希望される方は別規則あり）

『点数を積み上げて申請する方法』

・・・旧規則 2009 年 3 月末まで

第 2 条 健康心理士資格取得の要件は次の各号をすべて満たすものとする。

本学会に名誉会員、正会員、もしくは準会員として引き続き 2 年以上在会し、会員としての義務を果たし、会員たるにふさわしい者であること。

健康心理学に関する研究業績等が、別に定める研究業績評価表に照らして 15 点以上あること。

別に定める資格認定委員会の審査を受け、これに合格すること。

点数を積み上げて申請する方は、「研修証明書」が必要です。講義を受けた後、レポートを提出し合格する必要があります。その他諸条件がありますので「申請の手引」をご参照下さい（申請書類の審査あり）。



『試験を受けて資格を取得する方法』

第2条 健康心理士資格申請の要件は次の各号をすべて満たすものとする。

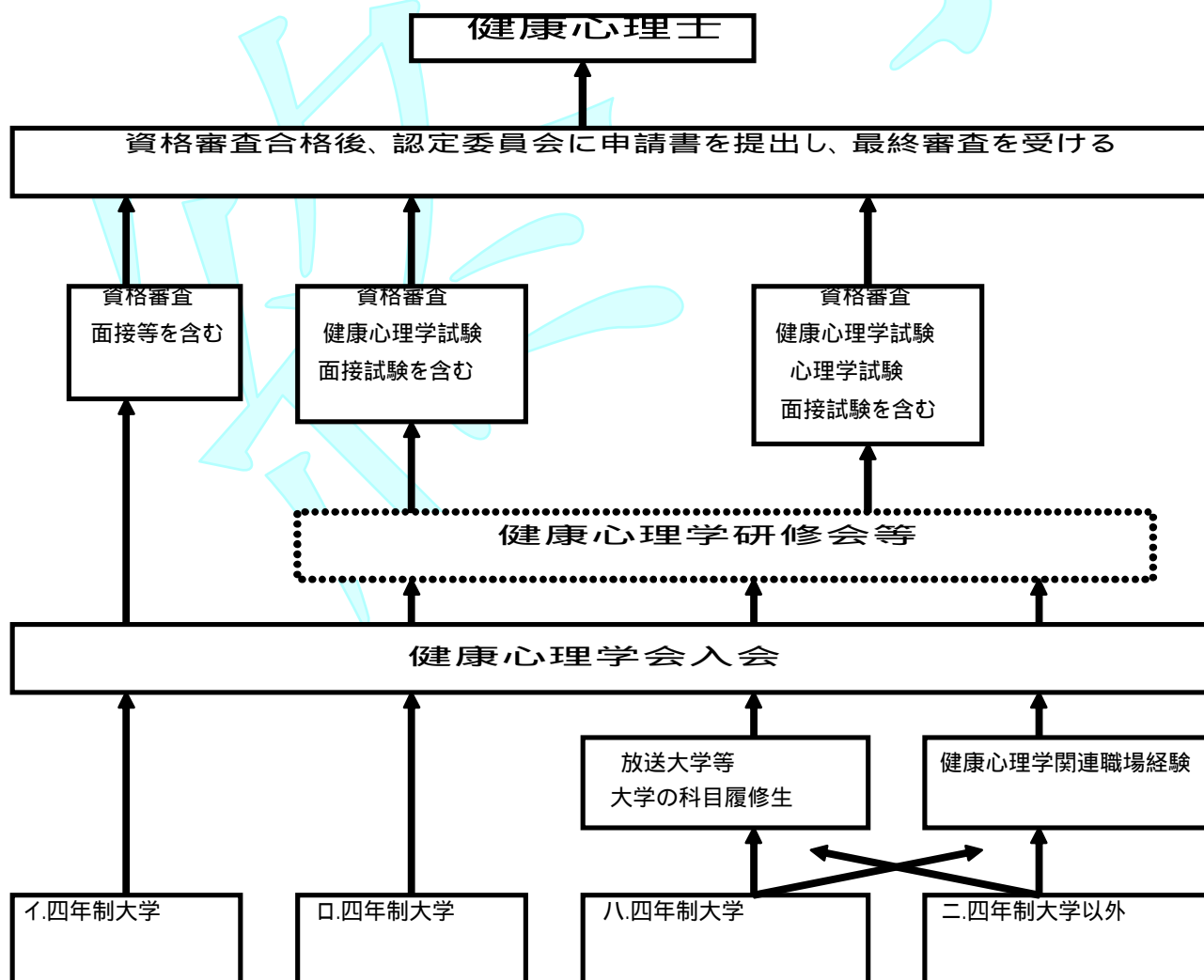
本学会に名誉会員、正会員もしくは準会員とし、会員としての義務を果たし、会員たるにふさわしい者であること。

学校教育法に定める4年制大学の卒業生で以下のいずれかの条件を満たすものであること。

- イ. 本学会が健康心理学修得の基準として示している大学学部のカリキュラムを含んだ健康心理学科等を卒業した者は、別に定める資格審査委員会（以下資格審査委員会）実施の資格審査（面接試問を含む）に合格すること。
 - ロ. 心理学関連学科等を卒業した者は、資格認定委員会が実施する資格審査（健康心理学試験と面接試問を含む）に合格すること。
 - ハ. 心理学関連学科等以外の学部学科等を卒業した者は、放送大学・大学の科目履修生として心理学関連科目15科目以上または30単位以上履修、あるいは健康心理学関連職場で5年以上の経験の後、資格審査委員会が実施する資格審査（健康心理学、心理学の試験と面接試問等を含む）に合格すること。
- 二. 学校教育法に定める4年制大学以外の学校を卒業した者の申請は新規則発足後5年間とし、放送大学・大学の科目等履修生として心理学関連科目15科目以上または30単位以上履修、あるいは健康心理学関連職場で5年以上の経験の後、資格審査委員会が実施する資格審査（健康心理学、心理学の試験と面接試問等を含む）に合格すること。

資格審査委員会が実施する申請者としての資格審査に合格すること。

健康心理士の場合、『試験を受けて資格を取得する方法』



資格更新について

「資格更新」は5年ごととなっています。更新に際して、点数が不足していらっしゃる方はなるべく研修会等を受講し、少しずつ点数を積み重ねてください。(認定健康心理士は1月現在945名)

- * 資格更新・昇格料金はいずれも20,000円、登録料は無料です。
- * 学会ホームページにも研修会の案内や今後の予定を記載してあります。
- * 年次大会参加は1点、口頭発表、ポスター発表は2点となります。その他研究業績評価表でご確認下さい。

健康心理士の方の更新

- 1) 本学会の学会員であること。
- 2) 5年間の研究業績等が10点以上あること。
研究業績評価表「1. 研究業績」「2. 大会・研修会への参加」の得点、実践活動を含めることができます。実践活動はカウンセリングの実施、健康心理学の講義担当、セミナーでの相互研修、スーパービジョンを受けた経験などで、内容を明記した自己報告書が必要です。
- 3) 資格認定委員会の審査に合格すること。

専門健康心理士の方の更新

- 1) 本学会の学会員であること。
- 2) 5年間の研究業績等が10点以上あること。
研究業績評価表「1. 研究業績」「2. 大会・研修会への参加」の得点、実践活動を含めることができます。実践活動はカウンセリングの実施、健康心理学の講義担当、セミナーでの相互研修、スーパービジョンを受けた経験及びスーパーバイザーとしてスーパービジョンを実施した経験などで、内容を明記した自己報告書が必要です。
- 3) 資格認定委員会の審査に合格すること。

指導健康心理士の方の更新

- 1) 学会の学会員であること。
- 2) 5年間の研究業績等が10点以上あること。
研究業績評価表「1. 研究業績」「2. 大会・研修会への参加」の得点、実践活動を含めることができます。実践活動はカウンセリングの実施、健康心理学の講義担当、セミナーでの相互研修、スーパーバイザーとしてスーパービジョンを実施した経験などで、内容を明記した自己報告書が必要です。
- 3) 資格認定委員会の審査に合格すること。

資格昇格について

専門健康心理士の資格昇格を希望する方は、「試験を受ける方法」と「経過措置」(2009年3月31日まで)で取得する方法などがあります。

経過措置とは・・・

専門健康心理士・指導健康心理士になるための措置です。本学会入会后5年以上経過した会員で、研究業績が専門健康心理士にあっては30点以上、指導健康心理士にあっては50点以上の研究業績を有する方は、それぞれの資格を申請して、審査を受けることができます。研究業績は、本学会機関誌に限らず、

内容によっては健康心理学以外の研究業績も含めることができます。ただし、年次大会の発表や委員会主催研修会の参加得点は含まれません。



FAX 返信先:

03-5287-3124

第 34 回健康心理学研修会 参加申込書

氏名:	会 員 ・ 非会員
住所:(〒 -)	
TEL:	FAX:
ご所属(現職):	
最終学歴 (学校名・学部・学科・専攻): * 在学中の方は 印をお書き下さい ()	

希望科目に 印をつけて下さい

コース名	日 時	講 義 題 目	希望科目	点 数	金額 (学生は 2 割引)
A 1	3 / 17 10:30 - 12:00	特別講義 : 認知症		1 点	5,000 円
A 1	3 / 17 13:00 - 14:30	健康心理カウンセリング講義		1 点	5,000 円
A 1	3 / 17 14:40 - 16:10	健康行動とライフスタイル		1 点	5,000 円
B 2	3 / 18 10:30 - 16:10	自律訓練カウンセリング実習		2 点	15,000 円

【受 講 料】 A 1 A 2 5,000 円 / 学生 (学部・大学院生) は 4,000 円

B 2 (実習) 15,000 円 / 学生 (学部・大学院生) は 12,000 円

* 学生は、学部・大学院生のみで選科履修生・研究生は含みません。

学生 (学部・大学院生)

¥ 5,000 × () = ¥ ()	¥ 4,000 × () = ¥ ()
¥ 15,000 × () = ¥ ()	¥ 12,000 × () = ¥ ()
¥ ()	¥ ()

【研修証明書について】

1. 研修証明書の発行を希望される方は、研修委員会事務局までレポートをご提出下さい。
レポート審査に合格した方には、5月中旬頃に研修証明書をご自宅へ郵送致します。
不合格の方は一回に限りレポートを再提出いただき、再審査になります。
レポート締切日 **4月17日(火)必着**
2. レポートの字数は各コース 2000 字以上 4000 字以内。其々の授業の最後に出題されます。
3. 研修証明書が必要な方は、受講した科目についてレポートをご提出下さい。

レポートが合格した科目のみ「研修証明書」を発行いたします。

